

4. 山田学区の課題

- ・人口増加が続く草津市の中にあつて、山田学区では既に人口減少や高齢化が進んでおり、その傾向は、今後も続くと予測されています。こうした中、高齢者をはじめ地域で生活するすべての人々が、安心・快適・便利に暮らし続けることができる持続可能なまちづくりを目指し、次の3つの視点から山田学区の課題を整理します。

生活環境

- ① 山田学区は、高齢者福祉施設を除く生活利便施設の充足度が低く、特に商業施設については東側のエリアにのみ立地しており、その他のエリアには全く立地していない状況です。このことから、徒歩圏内に立地していないエリアへ、市民に身近な生活利便施設の進出を誘導することが重要です。
- ② 老朽化している山田学区のまちづくりセンターの建て替えが予定されていることから、人口減少や高齢化社会を見据え、まちづくりセンターが地域住民の生活拠点となり、かつ、憩える場所としての利活用を考慮した整備とすることが必要です。
- ③ 日常生活に欠かすことのできない商業・医療・公共交通の徒歩圏人口カバー率が低く、利便性が悪いことから、地域住民の生活拠点にはまちづくりセンターに加え、買い物、防災防犯等の機能付加の検討を行い、地域の住民の生活利便性の確保が必要です。

交通環境

- ④ 基幹的公共交通の徒歩圏人口カバー率は、山田学区全体で約35%と低い状況にあり、路線バスは浜街道を運行しているため、浜街道から離れた地域は徒歩圏人口カバー率が更に低い状況となっており、これらの地域において、公共交通が利用しやすい環境の整備が必要です。また、生活拠点への公共交通のターミナル機能（交通拠点）の整備が必要です。
- ⑤ 地域の主要道路である浜街道を安全・快適に生活できる環境にするためには、歩道等の整備が不十分なことから、歩行者等が安心して通行できる環境づくりが必要です。

地域資源

- ⑥ハウスでの軟弱野菜・草津メロンの生産や水稻栽培が地域産業の一つとなっていることから、草津メロンや愛彩菜等の付加価値化やブランド力を持つ野菜等を地域資源として、更なる地域の活性化が重要です。
- ⑦北山田漁港では、草津水産まつりが毎年開催され、多くの地域の方々に親しまれていますが、漁業自体は、高齢化等を背景に衰退が見受けられることから、今後は漁業だけにとどまらず、漁港という資源を活かし、付近の湖岸緑地などと一体的に利活用を図ることが重要です。
- ⑧山田学区の北端に草津川跡地公園区間2「a i 彩ひろば」が平成29年にオープンし賑わいを創出しておりますが、現在区間1の自転車歩行者道等の整備が進められておりますことから、草津川跡地公園の利活用を図り更なる地域の活性化が重要です。

5. 基本方針と具体的な施策メニュー（令和6年3月改訂）

①【 山田学区の地域再生を具現化する推進計画 】

・草津市版地域再生計画における山田学区の将来ビジョンを更に具現化するため、生活拠点（商業施設等）・交通環境の充実をはじめ、観光資源・農水産資源などの地域資源をより効果的に活かすため、「明日の山田を考える検討会議」において検討を進め、施策メニューを取りまとめました。

★・・・市事業 ●・・・民間事業 ■・・・県事業（要望）

基本方針	将来ビジョン (草津市版地域再生計画)	番号	施策	施策内容	山田学区まちづくり計画との連携(基本方針)	施策の実施主体				短期計画(第2期)				
						市 (担当課)	民間 【役割】	地元 【役割】	県	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
Ⅰ生活拠点の形成	生活サービス機能が不足するため、地域の生活利便性向上と地域コミュニティの維持を支える生活拠点の形成を目指します。	・学区の中心に位置する区域に生活拠点を形成 ・生活拠点内への商業、医療施設等の誘致やアクセスの確保	①	集落福利等施設の誘導	山田学区の東側のエリアには商業施設が立地しているが、その他のエリアについては、商業施設が全く立地していない状況である。この課題を解決するため、市街化調整区域における地区計画制度を活用し、生活拠点への地域に根差した集落福利等施設(※)の誘導を推進する。 ※地域再生法第17条の1第3項第2号に該当する施設であって、「草津市市街化調整区域における地区計画制度運用基準」における生活拠点形成型地区計画における要件施設の名称。具体的には、生活サービス施設(医療施設、福祉施設、保育所、公民館、商店、ガソリンスタンド等)や就業機会を創出する施設(地場産品の加工・販売所、観光案内所等)のこと。	基本方針③ ひとにやさしく、ひとが輝くまちづくり	○ (都市地域戦略課)	○ 【施設整備】			●商業施設整備工事 (市街化調整区域における地区計画制度の活用) 設計・竣工など			
			②	まちづくりセンターの建替え	老朽化している山田学区まちづくりセンターの建替えに向けて、人口減少や高齢化社会を見据えた地域住民の生活拠点となり、かつ、多世代が集う憩いの場としての利活用を考慮すると共に、生活サービス施設や生活交通、隣接公園等と連携した整備を図る。	基本方針① 安心・安全で住み続けたいまちづくり	○ (まちづくり協働課)				★まちづくりセンター整備工事 設計・竣工・解体など			
			③	山田学区の持続可能なまちづくりおよび生活拠点の付加機能等の検討	山田学区が今後の人口減少、少子・高齢化社会においても持続可能なまちであり続けられるよう、学区の生活拠点として必要となる機能として交番の誘致など生活拠点への地域に根差した集落福利等施設の誘導を推進する。	基本方針① 安心・安全で住み続けたいまちづくり	○ (都市地域戦略課) (危機管理課)	○ 【施設整備】	○ 【地域ニーズの集約】			★■生活拠点への付加機能 地域での協議 ●民間企業等による集落福利等施設の誘導 協議・調査・検討・課題整理		
Ⅱ交通環境の充実	基幹的公共交通やまめバス等の補完公共交通の充実を図り、区域内や区域とまちなかを結び利便性の高い公共交通を目指します。また、公共交通の利用がしやすい環境の整備を目指します。	・バス、自転車等でのアクセス利便性を高める交通拠点の形成 ・生活者のニーズに応じた基幹的・補完公共交通の充実(路線の再編等) ・歩行者の安全性向上	④	生活交通の基盤整備および利便性向上	まちづくりセンターを中心とした生活拠点への公共交通のターミナル機能(交通拠点)の環境整備を進める。また、山田学区内の移動や「まちなか」への移動において、公共交通ネットワークを構築することで、生活拠点を中心とした地域の活性化や利便性の向上を図る。	基本方針① 安心・安全で住み続けたいまちづくり	○ (交通政策課)	○ 【公共交通ネットワークの充実、ターミナル機能の整備】			★●生活拠点の形成に伴う交通ターミナル機能整備 地域需要に基づいた公共交通網の見直し			
			⑤	歩行者・自転車の安全安心事業(ユニバーサルデザインの推進)	山田学区の住民が安全で安心して生活が送れるようにするため、山田学区の基幹道路を歩行者や自転車等が安心して通行できるよう整備を進める。	基本方針① 安心・安全で住み続けたいまちづくり	○ (都市地域戦略課)			○	■山田学区の生活拠点となる浜街道の拡幅(滋賀県道路整備アクションプログラム位置付け事業) 拡幅や歩道整備			
Ⅲ地域資源を活かした産業の支援	山田学区内に存在する様々な地域資源を活かし、実効性の高い地域振興を目指します。	・地域資源(観光、農水産業)を組み合わせ地域活力向上を推進する	⑥	農作物の高付加価値化による農業の振興	軟弱野菜や草津メロン等、地場産物全体の価値向上に向け、ブランド力の維持・向上を含め商品開発等の連携を図るとともに、環境に配慮した循環型農業の推進を図る。	基本方針② 元気で笑顔があふれるまちづくり	○ (農林水産課)		○ 【農産物の栽培】			★世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策、循環型農業の推進 地域計画の策定、地域農業振興の推進		
			⑦	北山田漁港のリノベーション	漁業体験等、北山田漁港等地域資源を活かした魅力ある空間をつくり、交流人口の増加等、地域の活性化に連携する。	基本方針② 元気で笑顔があふれるまちづくり	○ (農林水産課)		○ 【懇話会への参加】	○	★北山田漁港のリノベーション 懇話会(方向性の検討)			
			⑧	草津川跡地公園の利活用	草津川跡地公園の区間2「ai彩ひろば」において、指定管理者や市民活動団体、民間事業者において、農と人が触れ合うイベントや、サイクリング、ウォーキングなど、人が訪れる催しを開催すると共に、地域においても草津川跡地公園を活用することで、更なる地域の賑わいの創出を図る。	基本方針② 元気で笑顔があふれるまちづくり	○ (草津川跡地整備課) (商工観光労政課)		○ 【企画・運営】	○ 【企画・運営】		★草津川跡地公園の利活用 継続実施		

2期プラン推進体制：プランの期間中に地域と市の協働で検討し、実施主体が定まり具体化したものについて適宜まちづくりプラン施策に追加掲載していく

検討テーマ：①「山田らしい」拠点形成と共助の仕組み作り ②「山田らしい」交通環境の充実 ③「山田らしい」新たな産業の創出

山田学区のエリア内にある草津川跡地の未整備区間である区間3、4についても「草津川跡地利用基本構想」および「草津川跡地利用基本計画」を踏まえ、中長期的計画として推進していきます。

・施策メニューを地図上に落とし込み、図-8 に示すように山田学区の地域再生をイメージ化しました。

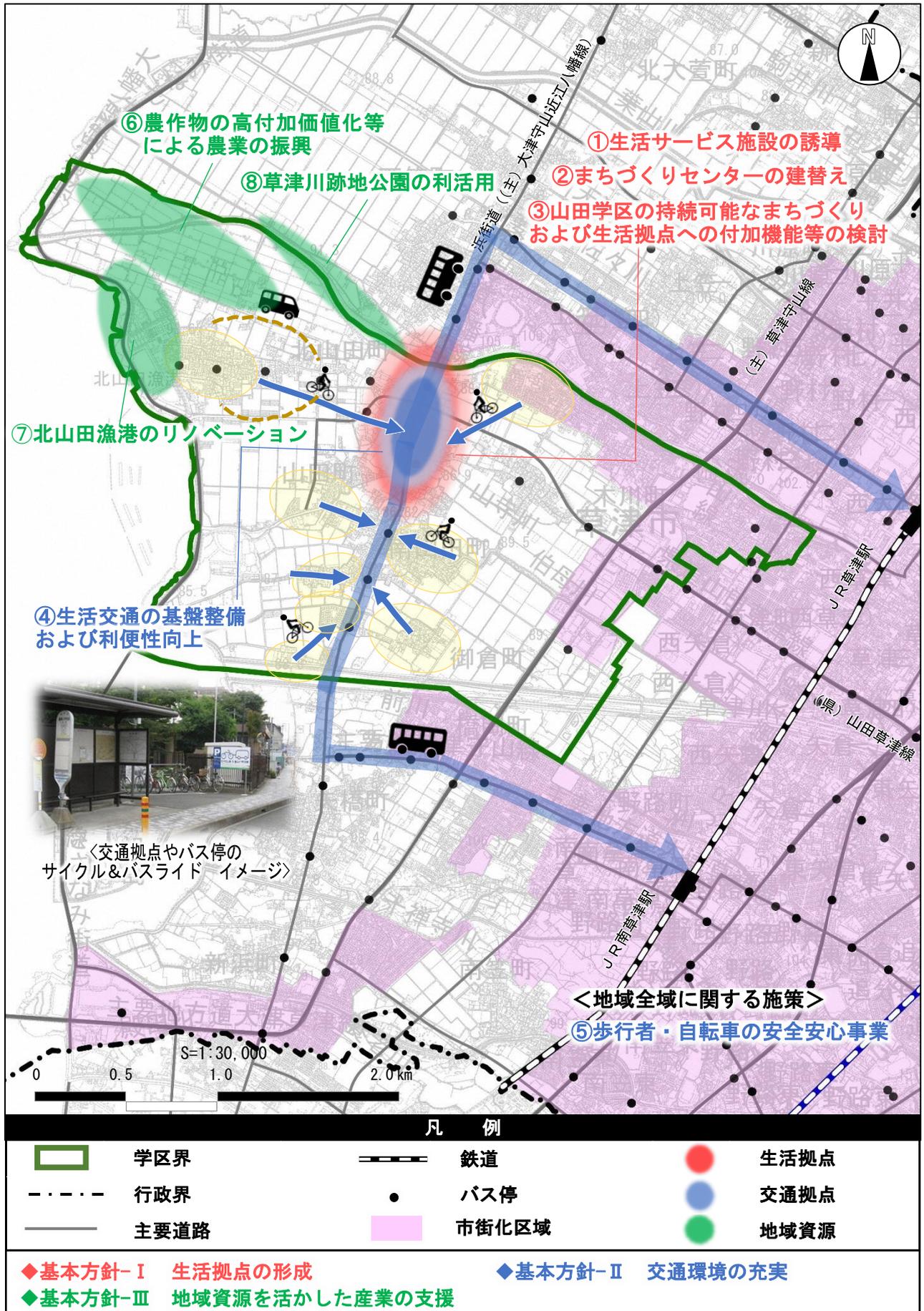


図-8. 山田学区 地域再生イメージ図

②【生活拠点のイメージ】

図-9は山田学区が今後も持続可能なまちであり続けるための生活拠点としての必要となってくる機能や施設、拠点としての更なる発展に向けて「明日の山田を考える検討会議」で検討した生活拠点のイメージです。

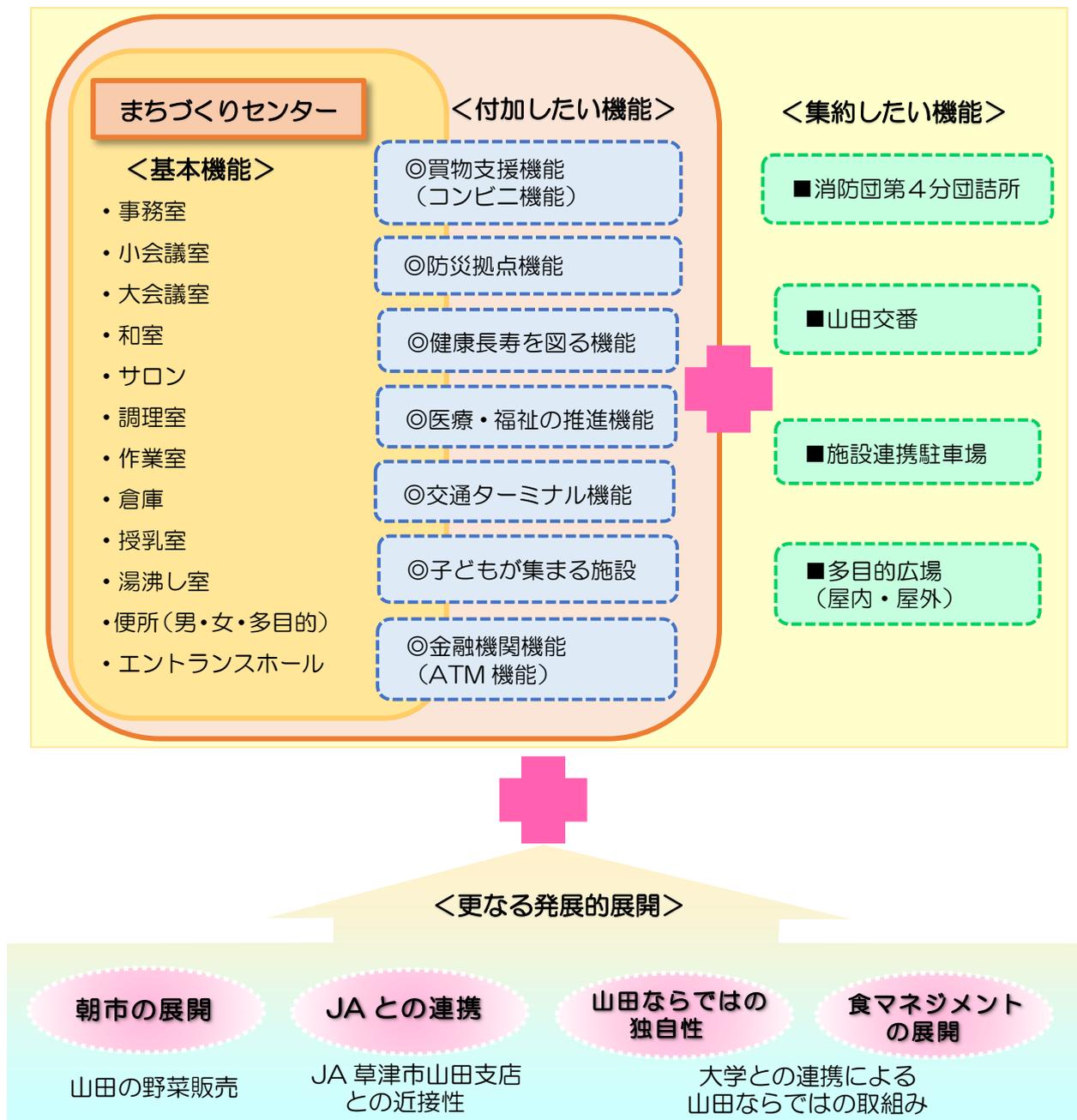


図-9. 山田学区 生活拠点のイメージ図

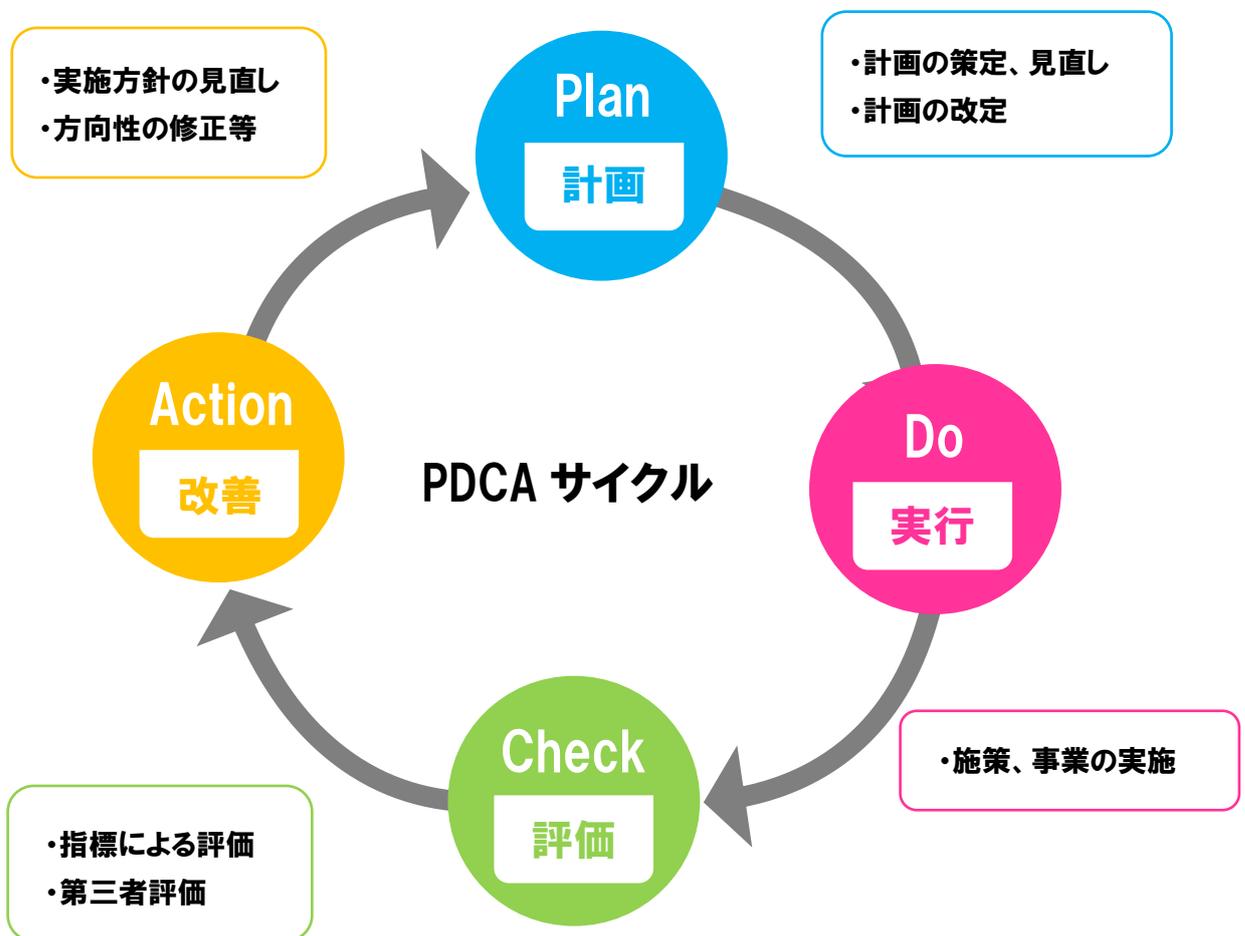
③【人材育成】

これまで山田学区の地域再生について「明日の山田を考える検討会議」において検討してきましたが、今回策定するまちづくりプランの更なる推進および生活拠点の形成に向けて、継続した議論を行うとともに、プランに基づく取り組みを地域とともに具現化していく必要があります。

まちづくりプランの具現化にあたっては、幅広い世代で担っていく中でも若い世代の活躍が期待されることから、多様な手法による議論の場を設けるとともに、有効な研修などを活用し研鑽を深め次代を担う人材育成に努めることとします。

6. 推進計画の進行管理

- ・草津市版地域再生計画に基づく山田学区まちづくりプランは、施策に応じて市が実施する事業・民間企業が実施する事業・地域と市が協働で実施する事業・要望により滋賀県で実施する事業など、多様な主体においてそれぞれの施策を進めていきます。
- ・草津市版地域再生計画の計画期間は平成 30 年から令和 21 年までの長期的な計画であるため、まちづくりプランの計画期間（5 年を目安）終了を区切りとして、取組みの進捗状況や事業の効果などについての分析・評価を行い、PDCAサイクルの考え方に基づいて修正・見直し等を行います。なお、山田学区まちづくりプランについては、令和 4 年度より施策の評価および見直し等を行い、令和 6 年度からの短期計画（第 2 期）を作成することとします。



7. 山田学区まちづくりプラン策定の体制・経過

(1) 検討体制

・明日の山田を考える検討会議を開催し、山田学区の地域再生に係る検討を重ねました。

(2) 検討経過

	開催年月日	主な内容
第 1 回	令和元年5月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> 山田地域における今年度の地域再生計画（まちづくりプラン）の進め方 山田地域における全人アンケートについて
第 2 回	令和元年5月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> 今年度のスケジュール(案)について 学区拠点の形成について
第 3 回	令和元年6月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> 今年度のスケジュール(案)の確認 学区拠点の形成についての確認 アンケートについて
第 4 回	令和元年7月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> 交通課題、道路課題について検討
第 5 回	令和元年8月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> 学区拠点候補地について 山田学区の農水産業振興について
先進地視察	令和元年8月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> 和歌山県有田川町の取り組みについて（先進地視察）
勉強会	令和元年8月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> 雲南市地域振興課（板持課長）より事例紹介 合同 WS の感想
第 6 回	令和元年9月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> 交通課題、道路課題について検討 まちづくりプランについて 若手人材の発掘やアンケートについて
第 7 回	令和元年 10 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> 山田学区のまちづくりプランについて 山田ならではの取組「食を通じたまちづくり」について 住民アンケートについて
第 8 回	令和元年 11 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> 山田学区のまちづくりプランについて 山田ならではの取組「食を通じたまちづくり」について
第 9 回	令和元年 12 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> 山田の未来を考える若手メンバーによるワークショップの展開に向けて まちづくりプランの具現化に向けた流れについて
第 10 回	令和 2 年 1 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> 山田学区まちづくり拠点の形成方針について 山田学区のまちづくりプランについて 今後の「明日の山田を考える検討会議」等の推進方法について
第 11 回	令和 2 年 2 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> 「明日の山田を考える検討会議」の今後の進め方について 山田学区まちづくりプランの決定について 令和 2 年度の進め方等について 「(仮称) 山田の未来を創る 100 人若手ワークショップ」について